

施策評価シート

平成27年度 第9次鳥取市総合計画

施策コード	4102	所属名	環境下水道部 生活環境課
施策名	環境保全活動の推進		

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○自然保護や環境保全に対する市民意識は高まりつつありますが、身近な市民生活に起因する生活排水やごみのポイ捨て、不法投棄などの問題は依然としてなくなりません。</p> <p>○市民等と市が協働して自然保護や環境保全活動に取り組み、将来にわたって豊かな自然環境と快適な生活環境を確保することが必要です。</p> <p>○森林は、二酸化炭素の吸収効果をはじめとする環境保全機能や洪水調整機能、土砂流出防止機能など多様な機能が評価されており、森林の適切な管理・保全に取り組む必要があります。</p> <p>○湖山池は、沿岸部の湖山砂丘の発達により形成された潟湖で、周囲16km、面積6.7km²あり、自然池では日本一の面積です。この湖山池のCODは環境基準を上回った状態が続いており、水質浄化が課題となっています。</p>
めざす方向	豊かな自然を次代へ引き継ぐため、自然保護意識の高揚と保全活動の展開により、身近な生活環境はもとより、森林や河川・湖沼などの生態系の保全に配慮した緑豊かで潤いのある環境先進都市をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①自然保護意識の高揚と環境美化活動の促進</p> <p>②水環境の健全化</p> <p>③湖山池の浄化</p> <p>④殿ダム周辺の環境整備</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

成果指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	湖山池中央部のCOD	mg/L	目標	3
			実績	6.3	6.1	7.9	7	5.7
			目標達成率	210%	111%	144%	127%	104%
	(指標の説明) 環境基準値 3.0 mg/L(75%値)の達成をめざす。(基準値は平成21年度) H24~33年度までの目標値 5.5 mg/L(75%値)の達成をめざす。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
			目標達成率					
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
			目標達成率					
	(指標の説明)							

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	132,771	260,662	865,595	127,131	87,322

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>環境保全に対する市民意識は高まりつつあるが、不法投棄、生活環境に対する苦情などの問題は依然としてなくなっていない。市民等との協働により取組みを継続していくことが必要である。湖山池水質浄化については、湖山池水門の常時開放の結果、ヒシ、アオコの発生は皆無であり、景観の改善、悪臭の解消が図られるなど大きな成果があった。</p>
--	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>今後とも、本市の豊かな自然を次代へ引き継ぐため、自然保護意識の高揚と保全活動の展開により、身近な生活環境はもとより、森林や河川・湖沼などの生態系の保全に配慮した緑豊かで潤いのある環境先進都市をめざしていく。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	001529	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	森林環境保全活動促進事業(女性)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		5	3	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	「女性の森グループ」活動支援補助金			予算事業コード	01-05-02-01-12-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林整備に係る下草刈りなどの森林保全活動を実施する女性団体
意図 (どのような状態にするために)	森林・林業の保全等の意識の高揚を図るため
手段 (どうするのか)	森林の持つ多面的機能の啓発等を行う女性団体の活動経費に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	女性の森グループ活動支援、森林、林業学習活動 1団体					
	年度別実績	女性の森グループ活動支援、森林、林業学習活動 1団体					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	850	843	828	846	836	
	直接経費 A	100	100	99	94	100	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	100	100	99	94	100	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	参加している団体数	団体	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1	1
	(指標の説明) 森林整備に係る下草刈りなどの実践活動を実施する女性団体								
2	森林整備意識の向上		%	目標	0	0	80	90	100
				実績	0	0	100	100	100
	(指標の説明) 森林教室参加者のうち、森林整備意識が向上した人の割合								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 森林の持つ多面的機能の啓発等を行う女性団体の活動に必要な補助金を交付することにより森林・林業に対する市民意識の高揚を図る。</p> <p>【事業の成果】 (事業の内容) 女性の森グループ活動支援事業 森林・林業学習活動 (事業実績) 平成25年度 100千円 平成26年度 100千円 平成27年度 100千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 森林の果たす役割や森林整備活動について、今後も啓発活動を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	参加している団体数	100%	100%	100%	100%	100%
	2	森林整備意識の向上			125%	111%	111%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	森林保全活動への女性参画を促進するものである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	参加者に対して行ったアンケート結果より、森林整備に関する意識の向上が見られた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	多数(20前後)の女性団体で構成されたグループが実施する事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	女性が参加しやすい。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	女性の積極的な森林保全活動への参画促進のため、継続して支援を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001530	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	森林環境保全活動促進事業(森づくり)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		5	3	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	森づくり市民活動支援事業費			予算事業コード	01-05-02-01-21-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	環境保全意識の高まりを背景に森林保全活動を行うボランティア団体
意図 (どのような状態にするために)	水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付することにより、市民一人ひとりがそれぞれの立場で森づくりに参加する気持ちを醸成し、森づくりや水源涵養に対する意識の高揚と啓発を図る。
手段 (どうするのか)	ボランティア団体の森林保全活動に対する補助金の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	平成24年度 森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	平成25年度 森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	平成26年度 森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	平成27年度 森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	
	年度別実績	森林保全活動ボランティア団体の支援 2団体	森林保全活動ボランティア団体の支援 3団体	森林保全活動ボランティア団体の支援 2団体	森林保全活動ボランティア団体の支援 1団体	森林保全活動ボランティア団体の支援 2団体	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,926	2,141	1,832	1,610	1,768	
	直接経費 A	427	656	375	106	297	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	427	656	375	106	297	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	参加している団体数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			団体	目標	3	3	3	1	3	
			実績	2	3	2	1	2		
	(指標の説明) 森林整備に係る下草刈りなどの実践活動を実施するボランティア団体									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P162（農039）</p> <p>【事業の概要】 水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付することにより、市民一人ひとりがそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成し、森づくりや水源かん養に対する意識の高揚と啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】 水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付した。 (実績) 平成25年度 375千円 2団体 平成26年度 106千円 1団体 平成27年度 297千円 2団体</p> <p>【今後の課題・方向性】 活動対象団体が固定化しているため、新たな団体の参画促進を行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	参加している団体数	67%	100%	67%	100%	67%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	一般市民が取り組み難い森づくりへの参画を促すものとなっている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	森づくりに参加しやすい環境と機会を提供することにより多くの市民が参加できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業者が広報することにより市民の参加の促進が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	希望団体があれば積極的に支援する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	森林の持つ公益的機能について、市民の理解と協力を得ながら発揮していくため、市民参加型の取組に対し継続して支援する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001524	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	不法投棄監視事業		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	湖山池中央部のCOD		6	3	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	不法投棄監視費		予算事業コード	01-04-02-02-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	不法投棄監視員による全市域の不法投棄監視体制
意図 (どのような状態にするために)	年々増加する不法投棄への対策を講じ、不法投棄を未然に防止する。
手段 (どうするのか)	不法投棄への対策として、多発地帯に防止看板及び不法投棄監視カメラを設置し啓発を行う。また、不法投棄を未然に防止することを目的として、全市域の不法投棄監視員によるパトロール等の監視体制の強化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 全市域61地区 不法投棄監視員体制 348名	平成24年度 全市域61地区 不法投棄監視員体制 348名	平成25年度 全市域61地区 不法投棄監視員体制 348名	平成26年度 全市域61地区 不法投棄監視員体制 348名	平成27年度 全市域61地区 不法投棄監視員体制 348名	
	年度別実績	全市域61地区 不法投棄監視員体制 356名	全市域60地区 不法投棄監視員体制 366名	全市域61地区 不法投棄監視員体制 368名	全市域61地区 不法投棄監視員体制 365名	全市域61地区 不法投棄監視員体制 369名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,752	4,148	4,676	3,736	4,914	
	直接経費 A	3,804	2,366	2,928	1,931	3,148	
	直接経費の財源内訳	国・県	310	401	215	125	384
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	3,493	1,965	2,712	1,805	2,764
	一般財源	1	0	1	1	0	
人件費 B	1,948	1,782	1,748	1,805	1,766		
職員数の内訳	正規職員	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		パトロール回数	回	目標	750	750	2250	2275	2300
	(指標の説明)	不法投棄監視員によるパトロール回数	実績	1349	1596	2695	2415	2197	
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217
	【9次総の施策体系】 4102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P222 (環018)
	【事業の概要】 不法投棄対策として、不法投棄の多発地帯に不法投棄防止を呼び掛ける看板や監視カメラを設置する。また、市内の地区公民館単位に、地区住民のボランティアによる不法投棄監視員を設置し、不法投棄を未然に防止する。
	【事業の成果】

	看板設置数		不法投棄監視員		監視カメラ設置数
平成25年度	45枚	61地区	368名		17台
平成26年度	29枚	61地区	365名		19台
平成27年度	44枚	61地区	369名		19台

【今後の課題・方向性】
今後も引き続き住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な対応に努めていく。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	パトロール回数	180%	213%	120%	106%	96%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	不法投棄をなくすことは、市の大きな課題であり、市民と協働して積極的に取り組む必要があるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域を熟知し、不法投棄を監視し通報・対応する不法投棄監視員は、不法投棄を減少させるために必要不可欠である。監視員の取組みにより不法投棄対応件数は減少している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	不法投棄監視員制度は、住民のボランティア意識により支えられており、費用対効果は極めて高い。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全域で事業を展開しており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	今後とも引き続き本制度を継続し、住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な対応に努めていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001528	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	湖山池流入有機質肥料等削減事業		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	湖山池流入有機質肥料等削減事業補助金交付要綱
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		6	3	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	湖山池流入有機質肥料等削減事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-39

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池周辺農業者
意図 (どのような状態にするために)	湖山池将来ビジョン推進計画(第3期湖山池水質管理計画・平成24~33年度)に位置付けられた農業活動からの負荷低減対策の一環として湖山池周辺の水田から流入する有機質肥料等を削減する環境に優しい農業を推進することにより、湖山池の富栄養化を抑える。
手段 (どうするのか)	湖山池に流入する有機質肥料の低減につながる、元肥一発施用等の取り組みに対し支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	育苗箱全量施肥助成 元肥一発施用肥料購入支援 側条施肥田植機導入支援 側条施肥田植機用アタッチメント導入支援 啓発パンフレット作成 減肥料栽培米出荷助成 土壌診断助成	育苗箱全量施肥助成 元肥一発施用肥料購入支援 側条施肥田植機導入支援 側条施肥田植機用アタッチメント導入支援 啓発パンフレット作成 減肥料栽培米出荷助成 土壌診断助成	育苗箱全量施肥助成 元肥一発施用肥料購入支援 側条施肥田植機導入支援 側条施肥田植機用アタッチメント導入支援 啓発パンフレット作成 減肥料栽培米出荷助成 土壌診断助成	育苗箱全量施肥助成 元肥一発施用肥料購入支援 側条施肥田植機導入支援 側条施肥田植機用アタッチメント導入支援 啓発パンフレット作成 減肥料栽培米出荷助成 土壌診断助成	育苗箱全量施肥助成 元肥一発施用肥料購入支援 側条施肥田植機導入支援 側条施肥田植機用アタッチメント導入支援 啓発パンフレット作成 減肥料栽培米出荷助成 土壌診断助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	1,127	1,163	1,168	1,185	
	直接経費 A	0	384	434	416	449	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	384	434	416	449	
人件費 B	0	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		減肥料栽培米面積	ha	目標	60	70	80	90	100
	(指標の説明)		実績	1.2	60	76	77	76	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P151（農017）</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 元肥一発施用肥料購入支援事業 2 土壌診断活用促進助成事業 3 環境に優しい農業啓発パンフレット（チラシ）の作成 <p>【事業の成果】</p> <p>平成25年度 事業費 434千円 元肥一発施用肥料1,066袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 79件 啓発パンフレット配布</p> <p>平成26年度 事業費 416千円 元肥一発施用肥料1,121袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 80件 啓発パンフレット配布</p> <p>平成27年度 事業費 448千円 元肥一発施用肥料1,288袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 80件 啓発パンフレット配布</p> <p>【今後の課題・方向性】 湖山池周辺の農業者により事業の目的が理解されつつある状況であり、今後さらなる啓発、取り組み支援等を行い、湖山池の富栄養化抑制等、環境に優しい農業を推進していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	減肥料栽培米面積	2%	86%	95%	86%	76%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	湖山池の富栄養化抑制、環境負荷低減につながる事業であるため、妥当であると考えます。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	湖山池周辺の農業生産に特化した事業であり緊急性等は低いですが、事業の推進により環境負荷低減及び環境負荷低減を意識する農業者の育成につながることも、湖山池の富栄養化抑制に資するため、有効であると考えます。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	環境負荷低減につながる取り組みへの支援を行っているため、効率的であると考えます。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	湖山池周辺に特化した事業であるため、適正であると考えます。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	湖山池将来ビジョン推進計画に定められた、農業生産活動に伴う環境負荷低減を図る取り組みの一つとして、取組面積の増加等に繋がるよう本取り組みを推進していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001517	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	湖山池浄化対策事業		所属名	環境下水道部 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	湖山池中央部のCOD		6	3	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	湖山池浄化対策費			予算事業コード	01-04-01-06-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池
意図 (どのような状態にするために)	市民が健康で快適な生活を営めるようにするため、市民、事業所、行政が一体となって湖山池の浄化を進め、生活環境の保全に努める。
手段 (どうするのか)	鳥取県と共同で湖山池の水環境の創造に向けて、「湖山池会議」を設置し、望ましい姿である「湖山池将来ビジョン」を策定するとともに、「第Ⅲ期水質管理計画」を策定し、管理計画に基づいて水質浄化事業を進めていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修 水質管理計画策定 将来ビジョンシンポジウム開催	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修 ・アダプトの導入・実施 ・環境モニタリング調査 ・シンポジウム開催 ・「推進委員会」の開催	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ビン改修 ・アダプトの導入・実施 ・環境モニタリング調査 ・シンポジウム開催 ・「推進委員会」の開催
年度別実績	ろ過袋助成袋数 1,481袋 湖山池巡視 30回/年 ビン回収 39.76t 湖山池将来ビジョン策定 シンポジウム開催	ろ過袋助成袋数 1,204袋 湖山池巡視 30回/年 シンポジウム開催 湖山池将来ビジョン推進委員会設立 環境モニタリング調査	湖山池巡視 30回/年 ろ過袋購入助成 1,325袋 湖山池アダプトプログラムの導入・実施 ・環境モニタリング調査 ・シンポジウム開催 ・「将来ビジョン推進委員会」の開催	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ・アダプトの導入・実施 ・環境モニタリング調査 ・シンポジウム開催 ・「推進委員会」の開催	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ・アダプトの導入・実施 ・環境モニタリング調査 ・シンポジウム開催 ・「推進委員会」の開催	湖山池巡視 台所用ろ過袋購入助成 ・アダプトの導入・実施 ・「推進委員会」の開催	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		8,321	13,268	14,286	7,659	10,577	
直接経費 A		5,322	10,298	11,372	4,650	7,634	
直接経費の財源内訳		国・県	250	150	2,617	981	491
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,091	145	171	144	92
一般財源	3,981	10,003	8,584	3,525	7,051		
人件費 B	2,999	2,970	2,914	3,009	2,943		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	袋	目標	2400
			実績	1481	1204	1325	1105	708
	(指標の説明) 湖山池周辺の下水道未普及地域への台所用ろ過袋購入助成の数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216</p> <p>【9次総の施策体系】4102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P217(環007) 2月補正予算・P49(502)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡視員によるパトロール ・湖山池周辺地域町内会台所用ろ過袋斡旋 ・湖山池の取組みを市民と情報共有し意見を参考にするプレミアムサロンを開催 ・高塩分化に伴う各種環境モニタリングの実施 ・アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進 <p>【事業の成果】</p> <p>①湖山池の汽水湖化の取組みを周辺住民と意見交換し、専門家の助言提案をいただく「湖山池プレミアムサロン」を周辺6地区で実施した。</p> <p>②湖山川水門の全門開放を行った結果、ヒシ、アオコの発生は皆無であった。これにより、景観の改善、悪臭の解消が図られた。一方、汽水湖化による生態系の変化が心配され、環境モニタリング調査(動物・植物プランクトン、トンボ類、鳥類、水草)を実施した。</p> <p>③湖山池の浄化対策、水質改善のため、台所用ろ過袋の購入助成を行うとともに、生活排水対策推進計画に沿った啓発活動を推進した。</p> <p>④水質浄化(貧酸素化対策含む)のため、流動促進装置を試験的に導入した。</p> <p>平成25年度 11,372千円 平成26年度 4,650千円 平成27年度 7,634千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>湖山池浄化の取組みは、本市の重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、ろ過袋斡旋事業収入。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	62%	60%	95%	79%	51%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民が健康で快適な生活を営むため、湖山池の環境改善や水質浄化は本市の大きな課題であり、行政・住民が一体となって取り組む必要があるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	平成25年5月に策定した「湖山池将来ビジョン推進計画」に基づき、県や関係機関、周辺住民等と協力して実施している事業であり有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	推進計画に基づき計画的に実施されており、さらに「湖山池アダプトプログラム」など市民と行政の協働の取組みも行われており、効率的で費用対効果の高い事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民が健康で快適な生活を営むための取組みであり、行政・市民が一体となって実施しており、公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	湖山池浄化の取組みは、本市の重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001533	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	殿ダム対策事業		所属名	都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成11年度 ~ 全期
	政策	01	地球環境を守り、誇れる自然と共生する		根拠法令、根拠計画等	水源地域対策特別措置法
施策	4102	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	湖山池中央部のCOD		6	3	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	殿ダム対策費			予算事業コード	01-07-01-01-14-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	殿ダム水源地域集落、団体及び事業推進団体
意図 (どのような状態にするために)	「殿ダム水源地域ビジョン」に基づき、自然環境と調和した環境づくりを進め、ダム湖を地域資源とする魅力的な地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	ダム湖の新たな緑水空間と自然環境を活用した周辺整備を行うとともに、水源地域等の活性化対策を計画的に推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	平成24年度 殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	平成25年度 殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	平成26年度 水源地域等活性化対策	平成27年度 水源地域等活性化対策	
	年度別実績	殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	殿ダム水源地域整備及び地域活性化対策	水源地域等活性化対策	水源地域等活性化対策 殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	99,399	206,220	535,755	36,383	24,787	
	直接経費 A	91,902	198,794	528,470	28,861	21,108	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	87,556	171,601	497,036	28,861	5,114
	一般財源	4,346	27,193	31,434	0	15,994	
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	3,679		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		事業箇所数及び活性化対策地区数	地区	目標	16	12	12	8	6	
			実績	11	11	8	6	6		
	(指標の説明) 整備事業完了箇所数及び活性化対策地区数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-20-3252</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P199(都025)</p> <p>【事業の概要】 ダム事業を円滑に推進するため、殿ダム周辺地域の生活再建・活性化対策を行ってきた。殿ダム水源地域整備事業は、平成25年度に完了し平成26年度より、殿ダム周辺4広場を指定管理による維持管理運営を実施している。 指定管理者を含めた地域住民主体の組織により、殿ダム水源地域ビジョンに基づいた行動計画を展開し、地域活性化を進める。</p> <p>【事業の成果】 殿ダム周辺広場指定管理料、水源地域等対策事業補助金、施設整備費など 平成25年度 497,036千円 ※殿ダム水源地域整備事業完了 平成26年度 28,861千円 平成27年度 21,108千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ビジョンに基づいた推進施策等を継続的に実践し、観光、活性化資源としてのダム周辺の有効活動を進める必要がある。 殿ダム「因幡万葉湖」を地域資源とした殿ダムウォーキングの定着、また、広場を活用した野外音楽祭の開催など新たな魅力創出につながる持続的な活動を通して地域の更なる活性化を図る。</p> <p>※その他財源の繰入金は、殿ダム水源地域対策基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業箇所数及び活性化対策地区数	69%	92%	67%	75%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	殿ダムを地域資源とする魅力的な地域づくりを推進。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	水源地域等の活性化対策の推進。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	ビジョン行動施策の計画的な実施。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	ダム事業に因り不利益を蒙る水源地域等への活性化対策支援。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	殿ダム水源地域ビジョンに基づいた行動施策等を継続的に展開しつつ、殿ダム周辺の観光資源を有効活用し地域の活性化を推進する必要がある。	